



今こそ 学ぼう! 障がいのあるユースの こころとからだ

発達に障がいのある子どもたちも、からだが成長し思春期をむかえ、性的な成熟が訪れます。

自身のからだやその変化を知り(受け止められるよう)性教育を受ける権利もあります。

性教育は人権教育でもあります。

そして、誰もがきっと誰かを愛する 때가 来ます。

発達に障がいのある子ども・若者の性と生の支援は

その人にとってわかりやすい方法での性教育が必須です。

何を伝え教えるのかを保護者や支援者がしっかりと学習することも重要です。



プロジェクト委員からのメッセージ

「性と生」に取り組んで10年近く。当初は手応えが弱かったこのテーマも、その大切さや必要性がやっと浸透してきたように思います。障がいのある方にも訪れる、当たり前前の成長やその想いに応えられる社会の実現を願い、これからも取り組んでいきます。

田中弘美(NPO法人 子ども&まちネット副理事長 STEPプロジェクトリーダー)

障害のある子どもや青年の性教育や性の支援は、まだまだ「実践の事実の蓄積」が必要です。このプロジェクトで作成した教材を活用しながら、豊かな実践を積み上げていきましょう!

伊藤修毅(日本福祉大学教員)

10年程前から「父母ネット」として、障がいのある子どもや若者に性を通して生の大切さを学んでほしいと取り組んできた延長で今回の事業に参加しました。専門の先生方と進めていくと、まだ自分が知らないことがあることに気づき、彼らには、もっともっと丁寧にわかりやすく学んでもらう必要性を強く感じました。近い将来、どこでもいつでも性について普通に学べるようになることを目指したいです。

障がい者の親(「障がいのある子どもの父母のネットワークあいち」事務局)

プロジェクトを通して、性教育は「身近」であると実感しました。「性」について、どのように教え、どのように学び合うのか、学校現場では様々な意見があります。しかし、変わりゆく時代の変化と共に情報は増え、子どもたちは様々な知識を蓄えていきます。身近にある「性」を正しく理解し、自分自身で考え、適切に行動しようとする力がさらに必要となってきます。学校でもこうした「性」についての適切な学びや、自分自身を大切にするための指導支援をもっと充実させていきたいと思っています。

特別支援学校教諭

(メッセージは各委員よりいただいた言葉を尊重しております)

自分自身も性に対して未学習のままなので、利用者さんに性の知識を伝えるとき、間違ったことは伝えたくない。言葉だけで伝えるのは難しい。分かりやすく伝えるための教材が欲しいと思い自分で作るしか手段がないので、目で見て触ることが出来る教材を作る現場にいる事ができたらと思い参加させていただきました。これからもプロジェクト委員会での学びを事業所に持ち帰り、子どもたちの学びに活かすことが出来たらいいなあと思っています。

鈴木由紀子(児童発達支援事業所スタッフ)

学校卒業後の障がいを持った方への支援をするものとして、学習の機会の少なさをずっと課題としてきました。性と生の学びは人間性や人生を豊かにします。STEPの事業を通して少しでも多くの方に学びの場を広げて行き、彼ら彼女らの自身で考える力を育てていけたらと思います。

竹内健悟(社会福祉法人ゆめネット 職員)

学びの「ネグレクト」がこれ以上連鎖することのないように、全ての子どもたちの健やかな成長を願って、心と体の学習を充実させていきたいです。

特別支援学校養護教諭

わたくしが、(しょうがい)と(セクシュアリティ)の相談と支援で、一番大切にしていることは、自分のからだところが大切に思えるような自分を育てていくことです。そのために大切なことは、子どもを主人公にした「からだところの学習」です。「学習権なくしては、人間的発達はありません」(「学習権宣言」)のですから。まずは、支援者自身が、自分のために学ぶことです。

木全和巳(日本福祉大学教員)

「誰にでもわかりやすく、理解できる性教育」。高い理想ですが性教育のゴールはここにあると思います。私も産婦人科医として多くの性教育に携わってきましたがゴールはありません。STEPメンバーとしてより質の高い性教育を目指していきたいです。

伊藤加奈子(ココカラウィメンズクリニック 院長)
(NPO法人ウーマンリビングサポート代表理事)



特定非営利活動法人 子ども&まちネットの紹介

「子ども&まちネット(通称子まち)」の「子ども」は胎児から青年期までを指しています。ユニセフが提唱する「こどもにやさしいまちづくり」に共感し、

*子どもがきちんと「子ども期」を生きられること

*子どもや若者がまちづくりに参画し、自分も他者も尊重できること

そんな社会を目指してつながった、子ども・子育て支援、まちづくり活動をする個人と団体のネットワークです。

ネットワークを活かして多分野で活動する会員と共に、

- 大人、子ども・若者向けの研修や講座の企画運営
- 子どもたちの社会参画や自立に向けた豊かな体験づくりの「こどものまち」事業
- 乳幼児とその親向けには、ひろば事業(週に2日)を行う
- 「なごや子ども貧困白書」など書籍の発行
- ◆名古屋市青少年交流プラザの指定管理者の一員として事業づくりを担当しています。

● 特定非営利活動法人 子ども&まちネット

名古屋市千種区豊年町3-18都通団地1棟111号室

<http://komachi-111.com>

電話FAX 052-768-5914

STEPに関するお問い合わせ

step.komachi@gmail.com